

平成30年度 学校経営計画

芦屋市立山手小学校

地域や子どもの実態及び課題

- 知的関心の高い子どもや保護者が多く、教育内容についての期待が大きい。
- 各方面の教育力や人材に恵まれている。
- 地域コミュニティ・同窓会など伝統ある母校を支えようという風土がある。
- 自ら表現し、創り出そうとする力を発揮する子どもが見られる。漢字や計算など、基礎基本の定着が充分でない子どもへの取り組みが必要。
- 人間関係力、相手の気持ちを理解する心を育てていく。
- 場の雰囲気を読み、自ら考えて行動できるよう具体的な取り組みを進める。

本校の教育課題

- 教育内容と指導方法を一層充実させ、全ての児童と教職員が輝く学校生活を創造する。**
- 全教育活動を通じて、主体的に自ら行動できる力を養う。(生活・特活)
 - いのちを大切に、互いの違いを認め尊重する心や実践力を培う。(人権・道徳)
 - 基礎・基本の習得の徹底を図り、思考力・判断力・表現力を培う学習指導を実践する。(授業)
 - 集団のルールを徹底させ、規範意識を体得させる。(生活・道徳)
 - 家庭・地域と連携し、共生社会に生きる人を育成する。(PTA・コミカ)

時代に即した教育課題

- 生きる力(確かな学力・豊かな心・健康やかな体)の育成
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 新学習指導要領の実施を想定した授業時数の確保
- 夢の実現に向けたキャリア教育推進
- 考え議論する「特別の教科道徳」の充実
- グローバル化に対応した外国語活動の充実
- インクルーシブ教育システムの構築
- 学校、家庭、地域の一層の連携

学校教育目標 (学校のめあて)

みんながかがやく

めざす子どものすがた

自分で考えて 行動する子
最後まで がんばる子
互いに 助け合う子

めざす学校のすがた

一人ひとりが主体的に生きる学校
(目的意識を持って、活動に取り組む)

めざす教職員のすがた

確かな人権感覚を持ち、児童を理解する教職員
教育の専門家としての自覚と自信を持つ教職員
チームワークを生かす教職員・・報連相
保護者・地域に信頼される教職員

授業研究

- テーマ
「共に学びを創り合う子どもを求めて」
—自分の考えを言葉で伝えあおう!—
- 【具体的取組】
- 単元を貫く学習活動(ゴールが見える学習)の創造
 - 問題解決学習による授業の質の向上
・仲間との応答のある学び
 - 基礎・基本の学習の獲得向上(パワーアッププラン)
 - 外国語活動、読書活動の充実
 - 学ぶ姿勢づくり、子ども同士がつながる話し合う活動の充実

人権教育

- テーマ
「確かな人権感覚を持ち、互いに認め合い、共に生きる子どもを育む」
- 【具体的取組】
- 全校授業研究会
 - 親子人権参観授業・懇談会
 - 7つの柱の教育の推進充実
- ①差別解消 ②いじめ・心 ③特別支援
④多文化共生 ⑤平和 ⑥ジェンダー平等 ⑦命

生活指導

- テーマ
「温かい人間関係を作り、規則正しく楽しい学校生活を築く」
- 【具体的取組】
- 基本的な生活習慣を身に付けさせる。
 - 挨拶などを通して、心の交流を密にしていく
 - 放課後や校外での生活にも気を配り、安全を図る
 - 家庭や地域との連絡を密にとりながら指導にあたる
 - 児童が自らの生活をより良くしていこうとする場を持つ
 - 全校生が気持ちよく登校できる環境を作る
 - 教職員一人一人が学年全体、学校全体を見ていく

特別活動

- テーマ
「自分たちの学校生活の向上をめざして自主的・自治的に取り組む力を育む」
- 【具体的取組】
- 自治的な児童会活動の充実
・計画・立案・運営を児童が主体的に進められるようにする
 - 学級活動の改善
・学級会の話し合い、活動を充実させていく
 - 自主的な委員会活動の推進
・より豊かな学校生活が実現できる活動を創り出す

今年度の重点課題

- 授業の質的改善を目指した授業研究、教材研究の充実
- 人権教育の本質を踏まえた教育活動の展開
- 温かい人間関係づくりを目指した生活指導
- 自主的・自治的な特別活動の充実
- 特別支援教育の推進充実
- 学校評価の活用
- 読書活動の充実
- 地域との連携充実と教育力の活用